

そう だい しれん とも
総 題 試練を共にされるキリスト」

だいきゅうか とり
第9課 鳥かご

さとうゆうほ
佐藤由歩

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

せいしよ かみさま みちび したが かかわ ひと
聖書には、神様の導きに従ったにも関わらず、その人たちがさまざまな苦しみに置かれるよ
うな経験をする (かみさま したが ひと たちがいろいろな苦しみの経験をする) ようす み することがあり
ます。こんしゅう わたし たちはさまざまな苦しみの中でご自身を示される神様の約束について学びます。

に にちようび い づ やくそく ち
2. 日曜日：行き詰まりから約束の地へ

しゅつ き じゅうさんしようにじゅういっせつ よ
出エジプト記 1 3 章 2 1 節を読んでみましょう。
「しゅ かれ さきだ すす ひる くも はしら みちび よる ひ はしら かれ て
主は彼らに先立って進み、昼は雲の柱をもって導き、夜は火の柱をもって彼らを照らさ
れたので、かれ ひる よる こうしん
彼らは昼も夜も行進することができた。」
イスラエルの民が約束の地であるカナンを目指し、なが ねんげつ こうや たび なか かみさま
長い年月をかけて荒野を旅する中、神様は
ひる くも はしら よる ひ はしら た みちび
昼には「雲の柱」、夜には「火の柱」をもって絶えずイスラエルの民の行く道を導かれました。
しかし、かみさま さいしよ たみ みちび さき うみ はいご お
神様が最初にイスラエルの民を導き入れた先には海があり、背後にはエジプトから追
ってきたファラオの軍隊が迫っていました。
ですから わたし かみさま しめ はしら い かなら よ
私たちは、神様の示される「柱」について行くということが必ずしも良いことばか
りではないと感じてしまうかも知れません。しかし、そのように感じてしまうとき わたし かみさま
がこれまでの人生で 私たちにどんな良いことをしてくださったかを思い起こすことが大切です。

さん げつようび にが みず
3. 月曜日：苦い水

さらにかみさま たみ みちび しゅ
神様は、イスラエルの民をレフィディムへと導かれます。しかし、この導きが「主の
めいれい しゅつ き じゅうななしようにいっせつ かかわ の みず
命令」(出エジプト記 1 7 章 1 節)であるにも関わらず、そこには飲み水がありませんでした。
いぜん かみさま みちび たみ おとず さい すくな みず
以前、神様の導きのもとでイスラエルの民がマラを訪れた際、少なくともそこには水があ
りました。しかし、レフィディムには水さえなく、じょうきよう あつか かみさま
状況は悪化しています。そこで神様はモー
せに ちょうろうすうめい ともな たみ まえ すす がわ う つえ も い
「イスラエルの長老数名を伴い、民の前を進め。また、ナイル川を打った杖を持って行く

がよい。」（出エジプト記 17 章 5 節）と言われます。このナイル川を打った杖とは、出エジプト記 7 章 14 節から 25 節における 10 の災いの最初に起こる「血の災い」からきています。エジプトに及んだこの災は、イスラエルの民を厳しい奴隷から解放するためのものでした。

この出来事もまた、困難の中にあっても神様がこれまでの人生で私たちをどのように助けてくださったかを思い起こす教訓があるのです。

4. 火曜日：荒野における大争闘

ルカによる福音書 4 章 1 節から 13 節を読んでみましょう。イエス様がバプテスマのヨハネからヨルダン川でバプテスマを受けられた後、聖霊によって荒野へと導かれたことについて書かれています。そこで一体何があったのでしょうか？ イエス様は悪魔から誘惑を受けられたのです。私たちにとって誘惑は非常に手ごわい存在（私たちが頑張っても無視しても勝てない）です。

なぜなら誘惑は、私たちが心から必要とするものに訴えかけ、いつも私たちが最も弱い状態にある時に襲ってくるからです。実際、イエス様は 40 日の間何も食わず、そのために空腹にあわれたと書いてあります。

ルカによる福音書 4 章のポイントは、サタンのすさまじい誘惑を受けるためにイエス様を荒野へと導いたのは聖霊であったということです。ですから私たちがサタンの誘惑にあう時、「自分は神様に正しく従っていないからこんな目にあうのかも知れない」と思っははいけません。聖霊が直接私たちに誘惑を与えているわけではないからです。

5. 水曜日：永続する遺産

ペトロ第一の手紙 1 章 3 節から 7 節を読んでみましょう。ペトロは私たちに、今はいろんな試練に悩まされると先に忠告しています。しかしそれはまた、「終わりの時に現されるように準備されている救いを受けるために、神の力により、信仰によって守られています」（ペトロ第一の手紙 1 章 5 節）との約束に結びついています。私たちの目の前にある試練がどのようなものであっても、イエス様が私たちを天国へと導くためにやがて来られることを考えたら、何事も乗り越えることができるのです。なぜなら、イエス様がどのような人間も経験することのない辛く苦しい経験、つまり十字架に自らおかかりになられたからです。こうして私たちの罪が赦され、また永遠の命が約束されました。イエス様の死と復活により、私たちは生き生きとした希望を持つことができるのです。

ろく もくようび ひ しれん 6. 木曜日：火による試練

ひじょう たいへん せいねんじだい す はな みみ かたむ じゅんちょう けいかく
非常に大変な青年時代を過ごしたアレックスの話に耳を傾けてみましょう。順調だった計画
つぎつぎ つぶ ゆうわく たたか なか じしん しんこう うたが かく たい かれ
が次々と潰され、誘惑と闘う中で自身の信仰に疑いを隠せないアレックスに対し、あなたは彼
にどのようなアドバイスをしますか？

わす くる じょうきょう かみさま やくそく しん ぬ
忘れてはならないことは、どのような苦しい状況にあっても神様の約束を信じ抜くことで
す。

かみさま したが なや くる げんざい かみさま したが
神様に従うからといって悩みや苦しみがなくなるわけではありません。現在も、神様に従う
おお ひと かみさま みちび うたが ゆうわく き き けいけん かみ
多くの人が、神様の導きを疑うような誘惑という危機を経験しています。しかし、「神
ごじしん けつ はな けつ お ざ
御自身、『わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにはしない』」（ヘブ
びと てがみじゅうさんしょうごせつこうはん やくそく わす かぎ わたし
ライ人への手紙 13章5節後半）という約束を忘れない限り、私たちがつまづくことはありません。
たみ たい かみさま みず あた か こ かみさま みちび おも お しんこう
イスラエルの民に対して神様が水を与えたように、過去の神様の導きを思い起こし、信仰
にんたい いの もと
と忍耐を祈り求めるのです。

なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

ガイド本文の『アドベントレビュー・アンド・サバスヘラレルド』をよみ、なぜ神様が私たちに
しれん ゆうわく ゆる かんが しゅ わたし
に試練や誘惑にあうことをお許しになるのかを考えてみましょう。それは、「主は、私たちに
ごじしん あらわ ねが わたし ひつよう ゆた そな しめ のぞ
ご自身を現すことを願い、私たちの必要のための豊かな備えを示したいと望んでおられるの
で、私たちが無力であることを知り、主に助けを求めることを学ぶよう試練と失望をお許しにな
る」からです。

しつもん <質問>

か こ くる ゆうわく じぶん かみさま うたが けいけん
過去にあなたをおそった苦しみや誘惑によって、自分や神様を疑った経験はありますか？ そ
とき ちから せいしょ ことば
の時、あなたを力づけた聖書の言葉はありますか？